

番号	事業名	内容	担当課	平成29年度実績
01	ユニバーサルデザインガイドライン等の検討・作成	区、区民、地域活動団体、事業者が配慮すべきユニバーサルデザインの項目を検討し、ガイドラインとしてまとめ、周知を図ります。また、常に見直しを図り、最新情報に更新します。	障がい者福祉課	ガイドラインの作成・配布 普及啓発冊子（まちなかで気づくかなの作成2000部）
02	MOTENASHIプロジェクトの推進	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、交流人口の増加を図る諸施策を効果的に推進するとともに、訪日外国人を板橋区に迎える体制を整備するため、施策の推進を支える区の職員の意識・能力の向上を図ります。 また、「もてなしの心」を広く区内に波及させるため、区民との協働や区内大学との連携を進めていくほか、関連する諸施策とも連携を図り、より一層の効果を生み出します。	人事課	【コンシェルジュ育成プログラム】 (1)MOTENASHI研修Ⅰ（新規採用者）の実施（1日×4回、117名受講） (2)MOTENASHI研修Ⅱ（係長職職員）の実施（半日×4回、143名受講） (3)大東文化大学連携講座「板橋の魅力を伝える もてなし英語（中級）」の実施（10日間×2講座、39名受講） 【魅力再発見プログラム】 (4)東京家政大学連携事業「共創マイスター養成講座」の実施（10日間、19名受講） (5)情報発信力向上研修の実施（半日×3回、46名受講） 【クリエイティブ発想力向上研修】 (6)クリエイティブ発想力向上研修の実施（2日間×3回、98名受講）
03	オリンピック・パラリンピック教育の推進	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を踏まえ、世界に広がる多様な価値について、スポーツを通じて学ぶことができるオリンピック・パラリンピック教育を推進します。	指導室	全校園において、アスリートの招聘やオリンピック・パラリンピック種目の体験等を通して興味・関心を高めた。オリンピック・パラリンピック教育推進重点校連絡会、オリンピック・パラリンピック教育推進委員会（4回）を開催した。 オリンピック・パラリンピック教育理解啓発リーフレットを作成した。
04	ユニバーサルデザイン研修の実施	区の職員に対し、接遇や特性の理解などソフト面に加え、設計や管理運営などハード面の視点を取り入れたユニバーサルデザインの研修を行い、意識向上を図ります。	障がい者福祉課	研修の実施（3回）

番号	事業名	内容	担当課	平成29年度実績
18	屋外案内標識デザインガイドラインの策定	区が設置する屋外案内標識について、表示内容やデザイン、設置方法等に関する統一的なルールとして、屋外案内標識デザインガイドラインを策定します。	都市計画課	デザインガイドラインの検討
19	福祉避難所の整備	福祉避難所として指定している施設について、要配慮者の避難に備え各施設との災害時協定締結や必要な物資の配備及び運営体制の構築を図ります。	地域防災支援課	新規施設整備 2施設 既存施設整備 4施設 備蓄物資整備 10施設（新規4施設、既存6施設） 地域防災支援課 開設・運営訓練 2施設
20	自転車利用ルール推進	放置自転車問題を広く区民に訴えるため、特に放置自転車の多い駅周辺で町会、商店会、鉄道事業者、警察、区などが協働して、マナー向上のキャンペーン活動を行います。	交通安全課	大山駅、蓮根駅、成増駅、高島平駅
21	おでかけマップの管理・運営	高齢者、子育て世代、外国人、障がい者などを対象に、赤ちゃんの駅やだれでもトイレの情報などを掲載した「おでかけマップ（冊子版及びインターネット版）」を管理・運営し冊子を配布することで、すべての人の社会参加を促します。	障がい者福祉課	管理・運営 更新111箇所
22	コミュニケーション支援機器等の活用	障がい者や外国人など、すべての人とコミュニケーションを行うため、区で保有する音声同時翻訳ソフト等のコミュニケーション支援機器等を活用し、すべての人が社会参加できる環境を整備します。	障がい者福祉課	UD推進協議会での実演及び障がい者福祉課内での活用

番号	事業名	内容	担当課	平成29年度実績
51	東板橋体育館周辺スポーツ施設整備	老朽化が進んでいる東板橋体育館の再整備を行うとともに、植村冒険館を複合化します。併せて東板橋庭球場についても改修を行い、地域において生涯スポーツを楽しめる場所の提供とスポーツによる健康づくりを支援します。	スポーツ振興課	東板橋体育館改修基本計画策定 東板橋庭球場改修設計
52	小豆沢スポーツ施設整備	小豆沢公園内のスポーツ施設を計画的に改修・更新し、地域において生涯スポーツを楽しめる場所の提供とスポーツによる健康づくりを支援します。	スポーツ振興課	プール棟工事 旧武道場解体設計 小豆沢スポーツ公園改修基本実施設計 (庭球場含む)
53	公園のユニバーサルデザイン化	ユニバーサルデザインに基づいた公園・緑地等の改修を進めます。	みどりと公園課	改修工事 2か所 (完了2か所) 改修設計 1か所
54	中央図書館の改築	ユニバーサルデザインの考え方に沿って中央図書館を改築することにより、幅広い年齢層の方や障がい者など、だれもが利用しやすい施設として整備します。	中央図書館	設計 樹木根回し工事
55	内方線付き点状ブロック整備支援	視覚障がい者の安全を確保するため、鉄道駅ホームへの内方線付き点状ブロック設置費を助成し、駅のユニバーサルデザイン化を推進します。	障がい者福祉課	助成2駅(大山駅、成増駅) 整備4か所(上記2駅と中板橋駅、板橋駅)
56	自転車駐車場の整備	駅周辺における自転車等の放置状態を解消するため、自転車駐車を整備及び改修し、通行の安全とまちの景観の向上を進めます。	交通安全課	整備・改修 1か所 設計 0か所 整備・改修計画策定完了
57	駅エレベーターの設置誘導	鉄道駅のエレベーター設置に対し助成を行い、駅のユニバーサルデザイン化を推進します。	障がい者福祉課	助成1駅 (板橋駅)

番号	事業名	内容	担当課	平成29年度実績
58	ユニバーサルデザインチェックの実施	区公共施設の改修時等に、その建築物がユニバーサルデザインの考え方に適合しているかなどを確認することにより、検討、評価、改善を切れ目なく実行し、好循環（スパイラルアップ）を生み出します。	障がい者福祉課	方針の策定・個別実施
59	ユニバーサルデザインアドバイザーの設置・活用	施設のユニバーサルデザインに係る助言・指導を担う学識経験者又は専門家を設置し、活用します。	障がい者福祉課	アドバイザーの設置（12月）・活用（3回）
78	会議・イベント等に参加できる環境整備の検討	だれもが区の会議やイベント等に参加できるよう、現在区が実施している乳幼児や障がい者の一時預かり制度とともに、情報のユニバーサルデザイン化などの視点も含めた新たな手法について検討し、実施します。	障がい者福祉課	新たな手法について検討・調整
79	ユニバーサルデザイン推進調整会議の設置・活用	区の職員で構成するユニバーサルデザイン推進調整会議を設置し、区の施設のうち、改築、改修等を行う施設がユニバーサルデザインの考え方を踏まえたものであるかをチェックします。	障がい者福祉課	会議体の設置
80	板橋区ユニバーサルデザイン賞の検討・実施	ユニバーサルデザインに配慮した製品について審査し、優れた製品に対して表彰を行います。	産業振興課・産業振興公社	実施
81	アーバンデザインセンター高島平の運営	民・学・公が連携したアーバンデザインセンター高島平（UDCTak）による活動をスタートさせ、多様な主体が連携して知恵と工夫を生み出し、高島平が健康でくらしやすいまちの全国モデルとなることをめざしていきます。	高島平ブランドデザイン担当課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会：2回、運営委員会：4回</li> <li>・デザインスクール：6回、ニュース発行：2回</li> <li>・プロムナード基本構想策定（平成30年1月）</li> <li>・実証実験・社会実験の実施（9/28～10/1）</li> </ul>